

F—35 現代女子大生(家政系・人文系)の意識と行動に関する実態調査—数量化
第Ⅲ類による解析— 第2報
慶応義塾大学大学院 り武長脩行 杉野女子大学 鈴木美和子 横山光子

目的 第1報では、あくまでも実態とそのまじ記述することに中心をおいたが、第2報では、第1報のデータを基にして、女子大生にとり、特に関心の深い“職業と結婚”の意識に焦点を絞り、その意識形態をいくつかの類型に分類しようと試みた。

方法 質問項目数(変量)、調査対象の数が多いためから多変量解析—外的基準を設定しない多類型化を試みる—手法である数量化第Ⅲ類を適用し、コンピュータ—処理を行った。

結果 質問項目の中で“職業と結婚”に関する意識のアイテムに絞り、2次元平面上にカテゴリ—マップ(第1軸、第2軸)を視覚化した。属性(大学、学部、学年、居住形態、経済状況等)と行動(経験)のローデータと関係づけて考察し、いくつかのタイプに分類を行った。